

18.7/11

畑丸ごとセット

本日の野菜&果物

ナス	鎌倉	大平さん	トマト	鎌倉	大平さん
キュウリ	鎌倉	大平さん	万願寺ししとう	鎌倉	大平さん
モロヘイヤ	鎌倉	大平さん	人参	鹿児島	中井さん
じゃが芋(男爵)	鎌倉	大平さん	ブナシメジ	新潟	片山さん

本日の野菜は栽培中農薬・化学肥料は使用していません

西日本は大変なことになりました。大雨の影響で 80 人以上の方がなくなる…考えられないようなことが現実に起こりました。自然の脅威を目の当たりにして言葉ありませんが、考えさせられることが…このような事態は自然現象…はたまた、人間の生活・暮らし方が影響を及ぼした地球温暖化の現象…

大雨特別警報が発表されましたが、大雨特別警報とは「数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合」に発表される警報だそうです。関東地方では 2015 年 9 月に関東で初めて大雨特別警報が発令され他では 2013 年 9 月 京都府・滋賀県・福井県 (降水量) / 2014 年 7 月 沖縄県 (台風・降水量) / 2014 年 8 月 三重県 (降水量) / 2014 年 9 月 北海道 (降水量) と 5 回ありました。

数十年に一度…ということですが、ここ数年で 5 回、今回を含めると 6 回の発令・発表となります。数十年に一度という何だか身近に起きる出来事ではないような気がしてしまいますが、地域別ではなく、日本全体でみると年単位で起きていると考えてもいいのでは…

大雨をはじめとする自然災害は人命や今まで築いてきた様々なものを一瞬にして奪います。農地もそのうちのひとつで、今まで大切に育てていた作物もたった 1・2 日の出来事で失ってしまいます。また、田畑が回復するまでもに相当な日数が必要です。被害を受けられた方々も以前と同じような生活を取り戻すのに相当な月日が必要となり、災害を受けた後の回復までが厳しい道のりとなります。

また自然災害はいつ、どこで、どのような形で起こるかの予測が困難でもあります。近年は考えられないようなことが起き、ニュース映像などを見ると心が痛くなり、言葉ありません。災害に備える準備…といっても、私たちが現実に来ることは住んでいる地区の環境を考え、それなりに避難場所や避難方法などをよく話し合い、食糧、災害用品の準備をしておく位の事しかできませんが、自然災害に対する準備、おこたりの無いようにしたいですね。

7/18 お届け予定

枝豆・ミニトマト・南瓜 1/4・いんげん
ブルーベリー又は島バナナ

7/25 お届け予定

トマト・キュウリ・ピーマン
ナス・プラム